



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 越田和俣充
幹事 小澤 啓一
SAA 鈴木 雅之
会報小 遠藤 洵
委員長

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

第 2856 回 例会 令和 3 年 4 月 21 日 (水・晴)

2020 - 21 年国際ロータリーのテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

会員卓話 川口登志雄会員 影山 晴康会員

◎会長挨拶—越田和俣充会長

皆さん、こんにちは。4月も中旬を過ぎ暖かい日が続いておりますが朝晩はまだまだ気温が下がり、日中になると気温が上がり初夏の気配を感じるようになりました。四季の移り変わりの早さを身をもって感じているところがございます。また、前回の例会で処理水を放出すれば風評被害が懸念されるとお話をしましたが正に現実の物となってしまいました。政府はこれによって生じる風評被害は東電に賠償させると言っておりますが、どこまでが風評被害なのかボーダーラインが不明確でこのままでは泣き寝入りをさせられる被害者が多数出るとは明らかです。私としては政府も東電も被害者が1人も出ないような万全な賠償対策をしていただきたいと思います。最後にいわきでもまたコロナウイルスクラスターが発生してしまいました。コロナに感染しない為には、皆さんひとりひとりが自覚し防護しなければ防げるものではありません。会員の皆様にはしっかりとしたコロナ対策をしていただきたいと思います。本日は会員卓話です。どうぞ宜しくお願い致します。



出席状況 正会員数 44名 カード出席 2名
本日出席会員数 20名 オンライン出席数 7名 本日の修正出席率 65.91%

ロータリーソング 奉仕の理想 —今月は母子の健康月間です—

4つのテスト
富澤 藤利 会員



◎幹事報告—林 毅彦副幹事

・いわき平ロータリークラブから週報が届いています。
・いわき南地区保護司会より中学生弁論大会後援のお願いが届いています。

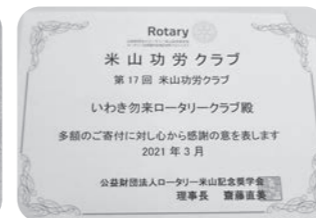
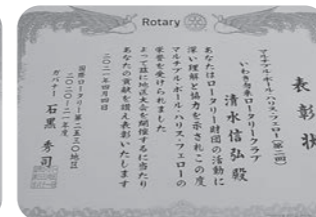
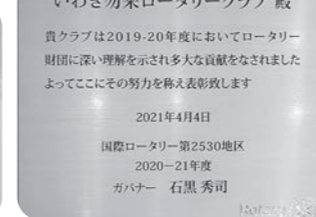
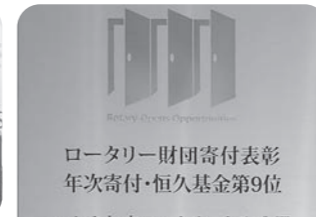
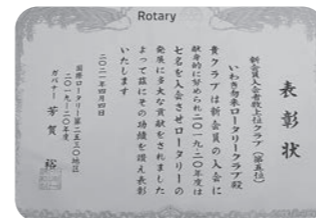
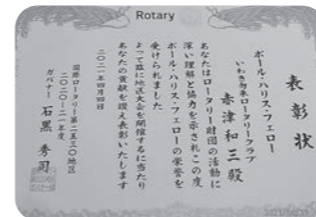
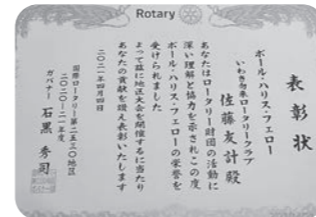
- ・第2回インターアクト顧問連絡協議会の案内が届いています。
- ・地区予算案の件ということでメールが届いています。
- ・米山奨学会より第17回米山功労クラブということで郵送で届いています。
- ・東京江戸川ロータリークラブより週報が届いております。
- ・いわき市より市民総ぐるみ運動推進本部協議会の開催案内が届いています。
- ・いわき小名浜ロータリークラブの創立60周年式典が中止となりました。また、分区のゴルフコンペも中止となりました。
- ・本日例会終了後理事会を開催致します。

◎地区より表彰状並びに感謝状授与

最初に永年在籍のロータリアン40年の表彰が渡邊公平パストガバナーに届いています。また、渡邊公平パストガバナーには米山功労者メジャードナーの表彰状も届いておりますので一緒にお渡し致します。続きまして米山功労者マルチプル第6会高萩勝利会員前の方へどうぞ。続いてマ



ルチプル・ポール・ハリス・フェロー第2回清水信弘会員おめでとございます。ポール・ハリス・フェロー赤津和美会員、佐藤友計会員おめでとございます。続いて事務局金成仁子さんへ感謝状が届いています。前の方へどうぞ。続いて勿来ロータリークラブへ表彰状が届いています。新会員入会者数上位クラブ第5位の表彰状が届いています。また、米山功労クラブ第17回の感謝状がクラブへ届いています。ロータリー財団寄付表彰年次寄付恒久基金第9位の表彰状もいただいております。



◎会員卓話—川口登志雄会員

皆さん、こんにちは。今日は自己紹介をしながら花屋業界の話をして少ししたいと思います。私は平成14年9月に今は故人となられた関根昭蔵さんのお世話でロータリークラブに入会させていただきました。現在ロータリー歴18年になります。平成26-27年には第53代会長を務めさせていただきました。私の出身地は埼玉県飯能市で奥多摩地方になります。アルバイトをした縁で高萩にある日本加工製紙という製紙会社に入社することになりました。アルバイト先が社長の家だった為です。こちらに来て勿来と近く勿来で花屋を営んでいた娘と結婚し、約15年サラリーマンを続けて脱サラし花屋を手伝って現在に至っています。ここで花屋の業界についてお話をしたいと思います。全国で法人個人を合計して花屋さんが約2万店ございます。その内個人のお店が

11,600店、法人が約8,000店あります。そこで働く従業員の数が69,000名います。2000年をピークに店や従業員の数は減少傾向が続いているようです。福島県では、法人個人合わせて花屋が255店、働いている方が800人強でいかに規模の小さい業界かということがわかると思います。この花屋業界ですが最近のコロナの影響をまろに受けましてどこの店でも大変な苦勞をされています。結婚式やご葬儀はもちろん各種イベント、集会等中止や規模の縮小で需要が極端に落ち込み、当店でも昨年4月から売上は半減しております。一刻も早くコロナの収束を皆さんと一緒に願うばかりであります。

◎会員卓話—影山晴康会員

皆さん、こんにちは、今週月曜日に鈴木修一郎会員から卓話の依頼がありましたので今日1時間会社で考えて来ました。今日のテーマは「私の趣味と仕事への関り」です。私の経歴ですが、私は昭和40年2月24日小名浜で生まれました。小名浜東小学校、小名浜第二中学校、磐城高校、武野大学、呉羽化学工業、現在のクレハ勤務という経歴です。趣味はサッカーです。現在でもいわき市には50歳のカテゴリーで毎週土曜日クレハグラウンドで練習して、県リーグに参戦し東北大会、全国大会へとつながります。去年はいわきシニアで静岡県藤枝市で開催された大会に参加しております。小学校の低学年の時に近所の友達と缶蹴りを皆さんもしていたと思いますが、小学校4年生の時に小名浜東小にサッカーのスポーツ少年団が誕生しました。缶蹴りをしていた友達と入団したのがきっかけでした。当時いわき市にはサッカー少年団は10チーム位しかなかったと記憶していますが缶蹴りからサッカーへ転身した私達小名浜東サッカー少年団はいわき市、福島県では常勝軍団に育ち読売ランドで開催された全日本少年サッカー大会に出場することが出来ました。小名浜二中の時は中体連サッカー競技で全国大会に出場、磐城高校では冬の高校選手権こそ決勝で敗れましたが夏のインターハイは2年連続で出場することが出来ました。高校時代の思い出として、いわき市内の社会人サッカー大会があり高校生ながら決勝で当時のクレハサッカー部にクレハのグラウンドで勝利したことは今でも鮮明に記憶しております。大学へ進学した自分は汗臭いサッカーではなくて軽いので女性とも交流のあるテニスサークルに入ろうとしましたが4年間サッカー部、アルバイト、学校のわかり易い学校生活でした。クレハでは現在新入社員研修の真っ最中ですが教育という前準備をしないまま社員の能力だけで仕事をさせるのは危険だと思います。それぞれ異なる境遇で育った人を会社で育てること無く、自分の会社の名刺を持たせて看板を背負わせるので運を天にまかせるようなものです。コロナ禍の中で世の中は激変します。この前準備で立ち位置を決めることになると思います。

